

令和2年4月1日発行



研究成果展開事業
社会還元加速プログラム（SCORE）
チーム推進型 / 大学推進型

令和2年度委託研究事務処理説明書

＝ 補 完 版 ＝

国立研究開発法人科学技術振興機構

産学連携展開部

大学等

目次

A.事務処理説明書 共通版との違い	3
I. 委託研究契約の概要	5
2. 用語の解説.....	5
4. 複数年度契約について.....	5
II. 経理・契約事務について	5
6. 直接経費の執行.....	5
(2) 直接経費の費目間流用.....	5
(4) 物品の取り扱いについて.....	6
(6) 「人件費・謝金」の計上 および (7) 「人件費・謝金」に関する留意事項.....	7
8. 証拠書類の管理について.....	8
14. 委託研究費の繰越について.....	8
VIII. 各種報告書等の提出について	9
1. JSTへの提出物（経理様式）.....	9

注) 上記目次の段落番号は、「事務処理説明書 共通版」の段落番号に対応しているため、一部が欠番しています。

令和2年度委託研究事務処理説明書 補完版（以下、本補完版という）について

●本補完版の見方について

本補完版は、社会還元加速プログラム（チーム推進型/大学推進型）の固有ルールが記載されています。

本文中、「共通版の記載内容」の表の右上に、適用対象となる研究タイプが表記されていますので、それぞれ該当する箇所をご参照ください。（表記がない場合は適用されません）

（例）下記の場合、チーム推進型のみ適用される内容です。

大学推進型には適用されません。

対象となる研究タイプ → 対象 チーム推進型

共通版の記載内容	大学等： 5～6ページ
1. 委託研究契約の概要 「2. 用語の解説」の表	

●委託研究契約にかかる書類

以下に掲載しております。報告書等の作成等に当たっては、必ず下記URLからダウンロードの上、所定の電子ファイルをご使用ください。

○委託研究契約にかかる書類

<https://www.jst.go.jp/contract/index2.html>

●研究者向けハンドブック

事務処理説明書（共通版、補完版）とは別に、研究活動を進めるにあたり、研究者向けに必要な事務処理等について説明するものです。

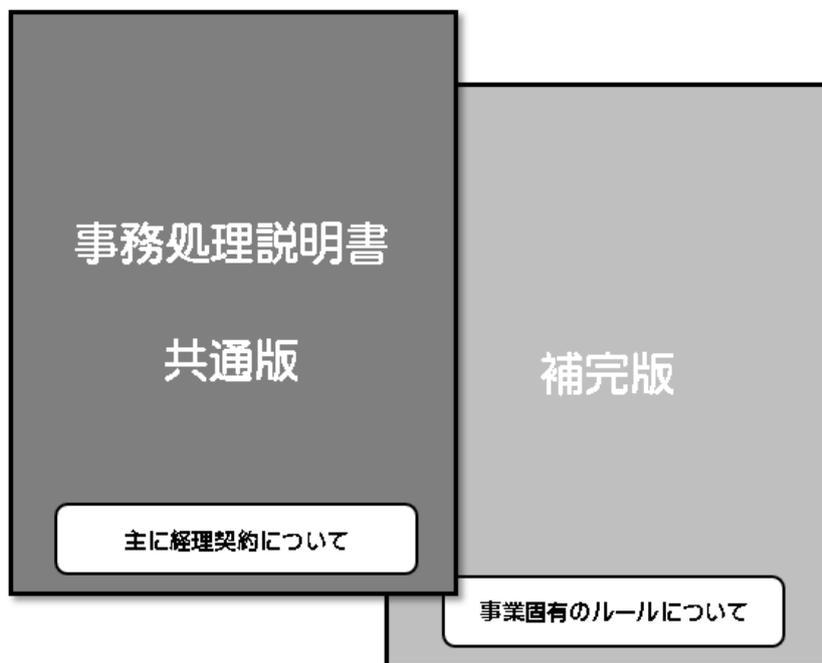
https://www.jst.go.jp/start/jimu/file/score_handbook.pdf

A.事務処理説明書 共通版との違い

ここでは、「委託研究事務処理説明書 共通版」にかかわる内容で事業固有の取扱いを掲載します

委託研究事務処理説明書の見方

- 委託研究事務処理説明書は、経理契約等共通の事項を「共通版」に記載し、共通版との取扱いの違いや事業固有のルールがある場合は、それらを「補完版」に記載しています。
- 共通版のページ下段に、補完版がある事業名（略称）を並べたアイコンを置いています。アイコンの事業名（略称）の横には、ページ内のどこで差異が生じたか確認するための項番を記載しています。「補完版」をご覧になる際には、「共通版」に記載の差異箇所をあわせてご確認ください。
- 補完版がある事業は、共通版と補完版を合わせて「事務処理説明書」とします。
- 補完版と共通版の間で差異が生じる場合は、補完版の定めが優先されます。



- 事務処理説明書 共通版 大学等
 - 事務処理説明書 共通版 企業等
- 本補完版 2 ページに URL を記載しています。

社会還元加速プログラム（SCORE）における事務処理説明書（共通版）との違い

I. 委託研究契約の概要

2. 用語の解説

対象： **大学推進型**

共通版の記載内容	大学等： 5～7ページ
1. 委託研究契約の概要 「2. 用語の解説」の表	

大学推進型は、上記に以下を追加します。

用語	説明
プログラム推進費	主に産学連携部門が起業活動支援プログラムの推進のために使用する費用
研究開発費	研究者がビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品作成、データ（実験結果、計算結果）等の整備を進めるための費用

4. 複数年度契約について

対象： **チーム推進型**

共通版の記載内容	大学等： 15～16ページ
「4. 複数年度契約について」全ての箇所	

チーム推進型は単年度契約であり、上記については該当しません。

II. 経理・契約事務について

6. 直接経費の執行

(2) 直接経費の費目間流用

対象： **大学推進型**

共通版の記載内容	大学等： 24ページ
(2) 直接経費の費目間流用 本研究の目的に合致することを前提に以下の条件・手続きのもと、直接経費の費目間流用が可能です。なお、直接経費と間接経費との間の流用は認められませんので、ご注意ください。	

大学推進型は、上記に以下を追加します。

プログラム推進費と研究開発費との間の流用は認められませんので、ご注意ください。

対象： **チーム推進型**

共通版の記載内容	大学等： 24～25ページ
① JSTの確認を必要としないで流用が可能な場合 各費目における流用額が、当該事業年度における直接経費総額の50%（直接経費総額の50%の額が <u>500万円</u> に満たない場合は <u>500万円</u> ）を超えないとき （中略）	
② JSTが本研究の実施上必要であると確認した上で流用が可能な場合 各費目における流用額が、当該事業年度における直接経費総額の50%および <u>500万円</u> を超えるとき	

チーム推進型においては、上記の下線部分にあてはまる流用額は、100万円となります。

(4) 物品の取り扱いについて

対象： **チーム推進型** **大学推進型**

共通版の記載内容	大学等： 28ページ
① 物品の種類と所有権の帰属 a. 取得物品 研究機関が本研究のために直接経費により取得した物品等であり、所有権は研究機関に帰属します。 取得物品には、直接経費により調達された消耗品などを含む物品等が全て含まれます。	

上記に以下を追加します。

本研究開発課題終了後、本研究開発課題の研究開発成果にて設立された新会社から要望のあった取得物品はその新会社に貸与・譲渡等の便宜を図ってください。ただし、研究開発機関の規程上、取得物品を本研究開発課題終了後、本研究開発課題の研究開発成果にて設立された新会社に貸与又は譲渡できない場合は別途JST課題担当者へご相談ください。

(6) 「人件費・謝金」の計上 および (7) 「人件費・謝金」に関する留意事項

対象：

チーム推進型

大学推進型

共通版の記載内容	大学等： 33～38ページ
(6)「人件費・謝金」の計上	
(7)「人件費・謝金」に関する留意事項	

【チーム推進型】

人件費の計上を想定していないため上記は該当しません。
ただし(6)⑤および(7)③については該当します。

【大学推進型】

研究開発費については、人件費の計上を想定していないため上記は該当しません。
ただし(6)⑤および(7)③については該当します。
なお、プログラム推進費については、該当します。

		チーム 推進型	大学推進型		
			(研究開発費)	(プログラム推進費)	
共通版の 記載 内容	(6)「人件費・謝金」の計上				
	人件費	① 雇用の基準	×	×	○
		② 直接経費での雇用対象	×	×	○
		③ 兼業者の取扱いについて	×	×	○
		④ 雇用に関する留意事項	×	×	○
	謝金	⑤ 招待講演・専門的知識の提供に係る謝金について	○	○	○
	(7)「人件費・謝金」に関する留意事項				
	人件費	① 博士課程(後期)学生の処遇の改善について	×	×	○
		② 若手の博士研究員の多様なキャリアパスの推奨	×	×	○
	謝金	③ 謝金に関する留意事項	○	○	○

×・・・想定していないため、共通版の記載は該当しない

○・・・共通版の記載が該当

8. 証拠書類の管理について

対象： **大学推進型**

共通版の記載内容	大学等： 44ページ
(1) 作成・管理をしていただく経理等関係書類 ① 収支簿（経理様式2） 直接経費の収支を明らかにするため、収支簿を作成し、予算費目毎に収支管理を行っていただく必要があります。 収支簿は研究担当者別（委託研究契約単位）に明確に区分してください。	

大学推進型は、上記に以下を追加します。

プログラム推進費、研究開発費の収支簿はそれぞれ別表になるように作成してください。

14. 委託研究費の繰越について

対象： **チーム推進型** **大学推進型**

共通版の記載内容	大学等： 53～56ページ
「14. 委託研究費の繰越について」全ての箇所	

【チーム推進型】

チーム推進型は単年度契約であり、上記は該当しません。

【大学推進型】

研究開発費については、上記は該当しません。

なお、プログラム推進費については、該当します。

	チーム 推進型	大学推進型		
		(研究開発費)	(プログラム推進費)	
共通版の記載内容	14. 委託研究費の繰越について	×	×	○

×・・・共通版の記載は該当しない

○・・・共通版の記載が該当

VIII. 各種報告書等の提出について

1. JSTへの提出物（経理様式）

対象：

チーム推進型

大学推進型

共通版の記載内容	大学等： 77～78ページ
1. JSTへの提出物（経理様式） 様式の表	

【チーム推進型】

人件費の計上を想定していないため、参考様式3は使用しません。

【大学推進型】

プログラム推進費、研究開発費の経理様式1「委託研究実績報告書（兼収支決算報告書）」はそれぞれ別表になるように作成してください。